

STEPHEN CAVE

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Director of the Institute for Technology and Humanity at Cambridge University
- Director of Leverhulme Centre for the Future of Intelligence (CFI)



Topics

- Artificial Intelligence
- Future
- Strategy
- Technology

スティーブン・ケイブ氏は、ケンブリッジ大学のテクノロジー・アンド・ヒューマニティー研究所およびレヴァーヒューム未来知能センター(CFI)の所長です。

スティーブンはケンブリッジ大学で哲学の博士号を取得しました。その後、英国外務省に入省し、政策顧問および外交官として10年近く勤務した後、執筆活動と学問の世界に戻りました。現在はケンブリッジ大学で研究ディレクター（教授相当）を務めています。

彼の研究は主にテクノロジーの哲学と倫理学に及び、二つの分野に分かれています。一つはAIとロボット工学の倫理について執筆活動です。この分野の出版物としては、共編著の『[AI Narratives](#)』（オックスフォード大学出版局、2020年）、[Imaging AI](#)』（オックスフォード大学出版局、2023年）、[Feminist AI](#)』（オックスフォード大学出版局、2023年）などがあります。

第二に、彼は延命の倫理と（不）死の哲学について著述しています。このテーマに関する著書には、[Immortality](#)（Crown/Penguin Random House、2012年）があり、これはニューサイエンティスト誌の年間最優秀作品に選ばれ、現在多くの言語で出版されています。また、『[Should You Choose To Live Forever?](#)（ジョン・マーティン・フィッシャーとの共著、Routledge、2023年）も出版していません。

彼の作品は、アトランティック誌からデイリー・メール紙まで、世界中の何百ものメディアで取り上げられています。フィナンシャル・タイムズ紙、ガーディアン紙、ニューヨーク・タイムズ紙などにも哲学や科学に関する記事を寄稿しています。またBBCやNPRを含むテレビやラジオにも定期的に出演しています。